

工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工事名 T 様 邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事

工事住所 田川郡 香春町 中津原

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



外観



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みに
つながりますので、下塗り・上塗り
をおこないます。



帯

同上



樋

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



ダクトカバー

同上



配線 パテ部

この部分は少し落ちてきてきましたので、補修をおこない塗装をしていきます。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



屋根水切り

同上



ウッドデッキ

こちらにも塗装をしていきます。



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



基礎 カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



基礎 カビ発生部

外壁 カビ部で補足説明



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部



外壁 劣化部

同上



外壁 劣化部

同上



外壁 クラック部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修をおこない塗装
をしていきます。



外壁 クラック部

同上



シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修をおこない塗装
をしていきます。



シーリング劣化部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも
劣化している部分がありますので、
劣化している部分は打ち増しをおこ
ない塗装をしていきます。

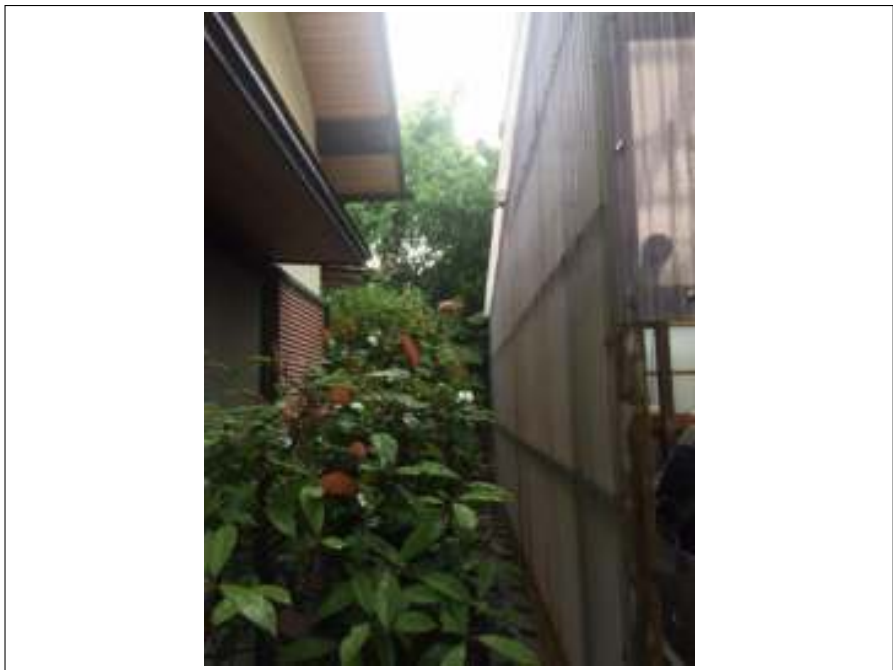












作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

